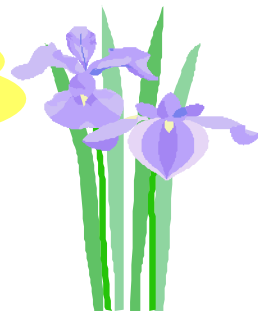


中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成25年6月10日発行

6月の主な行事予定

6月8日(土)

中部地区少年少女のつどい(三朝町ふるさと健康むら)

6月11日(火)

新任生涯学習・社会教育担当者研修会(倉吉体育文化会館)

6月13日(木)

第3回社会教育担当者会(北栄町役場大栄庁舎)

6月19日(水)

第1回「とっとり子育て親育ちプログラム」ファシリテータ養成講座(倉吉体育文化会館)

6月25日(火)

東伯郡社会教育協議会総会(中部総合事務所)

6月29日(土)

鳥取県PTA協議会指導者研修会(倉吉体育文化会館)

第32回中国・四国・九州地区

生涯教育実践研究交流会に参加して(5/18-19)



【福岡県立社会教育総合センター】

社会教育担当者に人気なのがこの研究交流会です。そこで、その理由を探ってみました。



岸本

会場は、福岡県立社会教育総合センターです。博多から電車で20分ほどの自然豊かな篠栗町というところにあります。施設は、講堂や体育館、宿泊棟があり、多くの方が研修できます。



【実践発表の様子】

この研究交流会の内容は、実践発表や講演、他県の方との情報交換会などです。今年は28団体の実践発表がありました。そのうち鳥取県からは3つの団体が発表されました。実践発表者は、PTAの保護者や公民館の館長、ボランティア団体、学校、地域企業など様々で、現在、中国、四国、九州地区で行われている社会教育実践活動の様子を知ることができます。



会場の外にメッセージボードが用意され、実践発表者には、参加者からのあたたかいメッセージが伝えられる仕組みになっています。発表者にとっては明日への活力につながるとてもうれしい配慮です。



参加者は、地元の名産品や特産品を持ち寄り交流会で紹介します。地酒や銘菓などたくさん集まります。鳥取県からは鬼太郎関連のものや地酒などが持ち寄られました。参加者は中国、四国、九州はもちろん、大阪、静岡、東京など全国各地から来られます。実践発表だけではなく、交流会では草の根情報もキャッチできます。



発表者も参加者も、何か得する研究交流会だと感じました。多くの参加者が「来年は私が発表したい」、「来年もまた参加します」と言われます。それは人の温かさを感じる配慮や役立つ情報がてんこ盛りだからではないのでしょうか。ぜひ、来年は皆さんも参加してみませんか！！新しい活動のヒントが見つかるかもしれません。

実践発表「幼稚園・家庭・地域をつなぐオヤジの会の挑戦

～やりたいことを形にするプロジェクトチームの力～

松崎幼稚園 元PTA会長 田中一臣さん

平成22年1月に松崎幼稚園PTAの別組織として「面白いことをして一杯飲まいや」を合言葉に「オヤジの会」を立ち上げた。この会には会則もなく、出席も強要しない。父親の参加率は8割を超える。年間を通してオヤジの会に携わった父親は10割。PTA活動を通して父親たちの間に、「大空の下で子どもたちを遊ばせたい」とか、「仕事をしている姿をみせたい」などの思いがあることに気づき、子どもたちの輝く笑顔のために、自由に行動できる組織を作ることにした。活動は多数決で決めず、手を挙げたものがリーダーになって進める。まわりには、フォロアシップをもった父親がたくさんいることがわかった。

例えば 竹で作ったドームテントでお泊まり保育を実施したり、杜氏の父親が酒づくりの見学会を企画したりした。また、ロッククライミングのインストラクターをしていた父親は、園児にもロッククライミングをさせてやりたいと、近くの岩場で実施した。ある父親は、普段、車で通園している園児の実態を見て、地域の人を巻き込んで町探検を実施した。

父親と母親と一緒に活動する環境が整えばオヤジの会はいらなくなる。今、オヤジの会はきっかけという点においても必要な団体である。子育ては父親と母親が行うことが大切である。

私たちは、家庭の教育力とか地域の教育力の向上を意識してオヤジの会を立ち上げた訳ではない。しかし、取り組みを通して、父親と母親がともに子育てをする環境が増えた。地域の父親同士のつながりができ、情報交換をする時間が増え、地域活動とのかかわりも密になった。今後、「オヤジの会」で影響を受けた子どもたちの成長は楽しみである。

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会に参加して

湯梨浜町生涯学習・人権推進課 阪口亜矢子さん

5月18日(土)～19日(日)にかけて福岡県立社会教育総合センターで開催された第32回中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会に参加させていただきました。湯梨浜町からは、松崎幼稚園082(オヤジ)の会の元保護者会長、田中一臣さんが、「幼稚園・家庭・地域をつなぐオヤジの会の挑戦～やりたいことを形にするプロジェクトチームの力～」と題して発表をされました。

内容は、竹や傘の布を使って作る「スタードーム」でお泊り会を実施したことをきっかけに保護者の有志がオヤジ会を立ち上げたことや、地域を巻き込んで毎回楽しい行事を計画し、ふるさとを愛する子どもを育てる活動を行っている話でした。

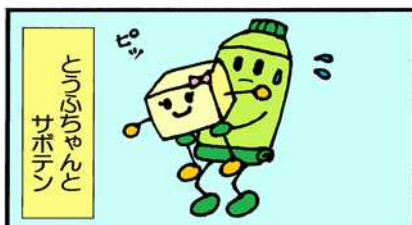
商工会、地元消防団と組んだ園外活動である「松崎探検隊」やお寺での「ロッククライミング体験」など斬新なアイデアで地域とのかかわりを増やしておられることはすばらしいと感じました。

当日は自由に聞きたい発表を選択し、会場を移動しながら事例発表をたくさん聞くことができました。また、18日の夜には交流会・物産品披露があり、参加者のみなさんが「お国自慢」「村おこし」「人づくりの楽しさ」について語り合い、たくさんの人とふれあい、交流することができました。

他の地域の活動について聞く機会がなかった私にとって、この交流会は大変良い勉強になりました。本当に楽しい会でしたので、まだ参加したことのない方は是非参加してみてください。

ちゅうぶくん

～組み体操～



お知らせ「中部地区人権教育懇談会開催について」

7月6日(土)9時より倉吉体育文化会館で開催します。対象は小中高、特別支援学校のPTAです。講師に前成美地区公民館長の澤田豊秋さんをお迎えし、「地域で育む学校支援ボランティアの取り組みを通して」という演題で御講演をいただきます。参加につきましては、所属の学校までお問い合わせください。

【あしがき】

5月は多くの小中学校で運動会がありました。天気にも恵まれ、保護者の方も子どもたちの前でハッスルされたことでしょう。最近の組み体操でのピラミッドは大人数で組むバリエーションがあり、高さが本部テントより高くなるものもあります。娘の運動会で見たときは、手に汗握る緊張感がありました。年に一度の運動会。我が子だけでなく、まわりでともに支え合っている子どもたちの姿に感動しました。一緒に汗を流す仲間がいるっていいですね。

(岸本)

中部教育局 社会教育担当 岸本隆治

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail kishimoto-r@pref.tottori.jp